

カリキュラム

<ねらい>

最近の安全衛生推進上の問題として、ベテランの退職、危険感受性の低下、一人当たりの仕事量の増加等により、労働災害がなくなり、転倒災害等、行動による災害が増加しています。職場では、一人ひとりが危ないことを危ないと感じ、危険やエラーが起きやすい所では、「確認」することが、ますます重要です。自分を守る最後の砦が指差し呼称です。指差し呼称を定着させるには、指差し呼称の必要性和効果を理解してもらい、さらに現場で指導し、一人ひとりが自ら実践することが重要です。

時刻	区分	内容	ねらい
12:30 (30)	受付		
13:00 (15)	開会	資料確認、名前ラベル・名札等記入、指差し唱和、開会挨拶、講師紹介、オリエンテーション	オリエンテーション
13:15 (5)	実技①	チームミーティング	研修の参加動機などを述べて、チームで共有する。
13:20 (50)	実技②	指差し呼称、指差し唱和、タッチ・アンド・コール	現場での定着は管理者・監督者の率先垂範と現場での指導が決め手である。指差し呼称、指差し唱和、タッチ・アンド・コールの基本を学び、現場での実践をめざす。
14:10 (40)	実技③	現状把握ミーティング テーマ「なぜ、指差し呼称が定着しないのか」	自分達の職場にはどんな問題があるのか、話し合っ て現状の問題を明らかに する。
14:50 (25)	講義	指差し呼称の定着に向けて	自ら進んで指差し呼称を 行う人づくり、職場づくりに ついて理解する。
15:15 (10)	休憩		
15:25 (35)	実技④	指差し呼称の設定の仕方	いつ、どこで、どのように 確認するのか、危険を回避 するための対策、指差し呼 称項目の設定の仕方を理 解する。
16:00 (35)	実技⑤	指差し呼称の具体的な指導の仕方 問いかけ指差し呼称	指差し呼称を自ら実践す る人づくりのための現場 指導のシナリオ例を体験 して、指差し呼称の活動の 定着、活性化のポイントを 理解する。
16:35 (5)	実技⑥	研修の振り返り	半日の研修を振り返り、こ こでの学びを今後の活動 へ自己決定する。
16:40 (15) 16:55	閉会	アンケート記入、修了証交付、 閉会挨拶、事務連絡、指差し唱和	